

営農技術情報（第2号）～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

今年こそ1等米比率90%以上を達成しよう！！

コシヒカリ1等を目指し 田植は5/15頃を中心に行いましょう！

- 育苗ハウスの換気を徹底し、活力の高い苗に仕上げましょう。
- 基肥量は、土壌条件に応じて調整しましょう。
- 代かき後の雑草の発生が早くなっています。除草剤は遅れずに適量を散布しましょう。

1. 硬化期の育苗管理

【温度管理】

○ハウス内温度は、25℃以下となるよう換気を徹底しましょう。

晴天日だけでなく、曇りの日でも日差しがあればハウス内温度はかなり上昇するので早めに換気を始めましょう。

○田植1週間前からは、夜間もハウスを開けましょう。ただし、夜間の気温が5℃以下となることが予想される場合は、ハウスを早めに閉めて保温に努めましょう。

【水管理】

○かん水は、床土の乾きに応じ、的確に行いましょう。

硬化期の温度管理の目安

	温度
昼	25℃以下
夜	10℃以上

2. 本田準備

○代かきは、田植予定日の3～5日前に実施しましょう。

○代かきは少なめの水で行い、稲わらや雑草等をすき込みましょう。また、代かき後は自然減水とし、濁り水をほ場外に流さないようにしましょう。

3. 田植

○栽植密度は70株/坪、1株当たり植付本数は3～4本、植付深さ3cm程度となるように田植機を調整しましょう。

【基肥量】

○基肥量は、土壌に応じた施肥基準を遵守しましょう。

○施肥量は、田植機や肥料、ほ場の条件等により異なります。田植時に落下量を確認し、必要に応じて再度調整しましょう。

<肥効調節型（一発）>

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	Jコートコシヒカリ1号	35	30	25
	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ1号	45	40	35
てんたかく81	LPs 早生専用	45	43	40
てんこもり	LPss 晩生専用	45	43	40

コシヒカリ肥効調節型肥料が Jコート肥料に替わります。

Jコート肥料は、被覆資材の崩壊性を高めた肥料です。

<<使用上の留意点>>

- ・施肥量は、従来肥料と同量です。
- ・仮比重は、従来肥料とほぼ同等ですが、田植作業時に必ず落下量を確認し、調整しましょう。
- ・栽培期間中の水管理等は従来どおり実施してください。

<分 施>

品種名	肥料名	基肥量(kg/10a)		
		砂質浅耕田	砂壤土乾田	壤土乾田
コシヒカリ	基肥206	35	30	25
てんたかく81		45	40	35
てんこもり		45	40	35

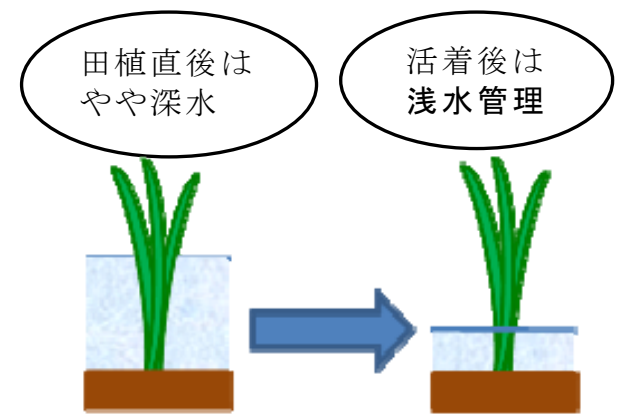
【育苗箱施薬】

○田植時に育苗箱施薬を行う場合は、規定量を散布しましょう。

使用農薬	散布量	施薬時期	対象病虫害	使用回数
エバーゴルワイド 箱粒剤	50g/箱	播種時(覆土前) ～移植当日	葉いもち、白葉枯病、紋枯病、イネミズゾウムシ、 イネドロオイムシ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、 ウンカ類、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ	1回

4. 水管理

- 田植直後は、苗が水没しない程度のやや深水としましょう。
- 活着後は、初期生育の促進のため浅水管理とし、早朝入水・日中止水で田水温が高くなるように努めましょう。



5. 除草剤散布

<除草剤施用時期の目安>

	田植	田植後日数																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
一発処理						キチット1キロ粒剤												
						ゴエモン1キロ粒剤												
						忍ジャンボ												
一発処理						ウィナーLジャンボ												
						シリウスエグザ1キロ粒剤												
一発処理						エンペラー1キロ粒剤												
												ノビエ2.0葉期まで ただし、移植後30日まで						
体系処理	ピラクロン1キロ粒剤 (ノビエ1.0葉まで)																	
						マーシット1キロ粒剤 (ノビエ1.0葉まで)												
												キチット1キロ粒剤						
												ゴエモン1キロ粒剤						
												シリウスエグザ1キロ粒剤						
												忍ジャンボ						
体系処理											ウィナーLジャンボ							
											エンペラー1キロ粒剤							
												ノビエ2.5葉期まで ただし、移植後30日まで						

雑草が残った場合は、中期剤または後期剤を散布

- 剤ごとに登録内容を確認し、適切に使用しましょう。
- 代かき後に気温が高いと、雑草の発生・生育が早まるので、遅れずに散布しましょう。
- 散布後5日間は湛水状態を保ち、田面を露出させないようにしましょう。
- 散布後7日間は、止水管理(落水やかけ流しをしない)とし、水田外への流亡を防ぎましょう。
- 田植同時散布機を使用する場合は、剤によって散布機を調整しましょう。

6. 斑点米カメムシ類発生防止対策

<畦畔等の草刈り・除草剤散布>

○カメムシのえさとなるイネ科雑草が穂をつけないように、畦畔等の草刈りや除草剤の散布を行い、カメムシの生息密度を抑制しましょう。

春の農作業安全運動

4月1日～5月31日

事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。

- ・農場や用水路の危険箇所の把握・改善
- ・余裕をもった作業計画

